

鬼北町ゼロカーボンシティ宣言

近年、環境を取り巻く状況は大きく変化しており、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が増加しています。我が国においても、これまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑などによる被害が毎年のように発生し、平成30年7月豪雨では、鬼北町においても甚大な被害があり、私たちの身近な生活環境に様々な影響をもたらしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命から平均気温上昇の幅を2℃未満とする」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

このような中、鬼北町においても、再生可能エネルギー導入や鬼北町の豊かな森林・自然が調和した持続可能なまちづくりなど、脱炭素社会の実現に向けた取組みを積極的に進めていくことが急務であり、令和6年1月に策定した「鬼北町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」において、2050年までにゼロカーボンの実現を目指す町の将来像を定めました。

私たちは、先人から受け継がれた鬼北町の豊かな森林と清流、渓谷美に恵まれた環境や歴史・文化を次の世代へと引き継がなければなりません。強い決意のもと、鬼北町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現を目指し、町民、事業者、行政が協働して全力で取り組むことをここに宣言します。

令和6年3月8日

鬼北町長 兵頭 誠 亀